

先進地調査等報告書

令和8年 2 月 4日

天童市議会議長様

会派名 無会派

代表者氏名 野口 さつき

下記により、会派において調査（視察）が終了したので報告します。

記

期 間	令和8年1月21日（水）から令和8年1月23日（金）まで
調査（視察）先 調査項目	① 兵庫県伊丹市 伊丹市役所 安全・安心見守りネットワーク事業について ② 愛知県稲沢市 稲沢市役所 全庁的なDX推進体制とデジタル人材育成戦略について ③ 農林水産省・環境省 東京都衆議院会館 鳥獣害対策について
調査（視察）目的	① 安全・安心見守りネットワーク事業調査 伊丹市の日本初となる防犯カメラ・ビーコン活用ネットワーク（まちなかミマモルメ）の仕組み、運用体制、犯罪抑止・災害対策への効果と課題を調査し、本市への導入モデルとして参考にする。 ② 全庁的なDX推進体制とデジタル人材育成戦略調査 稲沢市の全庁横断的DX推進体制と、実効性のあるデジタル人材育成戦略について、組織・施策内容、波及効果と課題を調査し、本市DX戦略策定と実行力強化のノウハウを獲得する。 ③ 鳥獣害対策調査 多発するクマ出没に対し、農水省から鳥獣害対策の最新知見と戦略を聴取する。地域支援、捕獲技術、被害防止策を調査し、天童市の施策を強化して被害の最小化を目指す。
市政との 関連性	伊丹市の視察は、本市が推進する「安心の市民生活充実プロジェクト」（防犯・交通安全・災害対策の充実）に、ICTを活用した新しい見守り・防犯の仕組みを取り込む際の具体的なノウハウとなる。 稲沢市の視察は、本市が掲げる「健全な行財政をともに築くまちづくり」

	<p>における自治体 DX の推進に直結する。全庁的な体制構築やデジタル人材の計画的な育成戦略は、効率的な行政運営と市民サービス向上に不可欠である。</p> <p>農水省からのレクチャーは、喫緊の課題であるクマ出没多発への対策として、国の最新の知見と戦略を直接施策に取り込むことで、市民の安全・安心の確保に貢献する。これら三つの調査・聴取は、天童市の重要政策課題の解決に資するものであり、関連性が極めて高いものである。</p>
<p>調査（視察）内容</p>	<p>① 安全・安心見守りネットワーク事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊丹市について</li> <li>・伊丹創生総合戦略について</li> </ul> <p>《基本目標1》さらなる安全・安心を実現するまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心見守りカメラ 1200 台設置</li> <li>・「安全・安心」を都市ブランドとして「選ばれるまち」へビーコンを活用した「まちなかミマモルメ」について</li> <li>・子ども、認知症高齢者を見守りまちなかミマモルメの家庭用についてまた、利用状況・利用料金等について</li> <li>・官民連携で安全・安心のまちづくり</li> </ul> <p>安全・安心見守りネットワークの活用・効果・コストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報戦略</li> </ul> <p>② 全庁的な DX 推進体制とデジタル人材育成戦略について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稲沢市について</li> <li>・稲沢市 DX 推進計画について基本理念「ICT でつながる、ひろがる、スマート都市 INAZWA」を掲げ、「暮らしの DX」「地域の DX」「市役所の DX」の3つの基本構想</li> <li>・「暮らしの DX」デジタルソフトで、市民の利便性を向上します。マイナンバーカードの普及・行政手続きオンライン・窓口のデジタル化</li> <li>・「地域の DX」デジタル技術で、地域課題を解決します。地域社会のデジタル化・オープンデータの推進</li> <li>・「市役所の DX」デジタル社会実現の取り組みを行い、行政サービスの向上を目指します。</li> </ul> <p>自治体情報システムの標準化・共通化 ・BPR(業務プロセスの見直し)の取組徹底・AI・RPA 等の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DX 推進に関する組織体制について</li> <li>・市職員デジタル人材育成計画について</li> </ul> <p>研修の取り組み(1)幹部職員向け研修(2)DX 推進デザイナー向け研修(3)DX 推進リーダー向け研修(4)一般職員向け研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民サービスの具体的なデジタル化の成功事例</li> <li>・研修プログラムについて</li> </ul> <p>③ 鳥獣害対策調査</p> <p>農林水産省におけるクマ被害対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クマ被害対策パッケージ(概要)</li> </ul>

	<p>○クマによる死者数が過去最多を大幅に更新し、国民の安全・安心を脅かす深刻な事態となっていることを踏まえ、関係省庁連携による緊急的な施策を含めた総合的な施策パッケージの実施により、国民の命と暮らしを守る。</p> <p>○人の生活圏からクマを排除するとともに、周辺地域等において捕獲等を強化することで、増えすぎたクマの個体数の削減・管理の徹底を図り、人もクマのすみ分けを実現する。</p> <p>(1)農業集落に出没する里に慣れた個体一掃(とる)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クマを排除し、捕獲を強化することで増えすぎた個体の削減を図る。</li> </ul> <p>クマ対策により、捕獲単価を従来より大幅に増加して支援するなど、捕獲強化に向けた環境整備を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クマの行動範囲を踏まえた、被害発生市町村を中心に、近隣市町村とも一体な捕獲強化を推進。</li> </ul> <p>(2)電気柵の二重設備による防護強化(まもる)</p> <p>(3)緩衝帯と強化柵による棲み分け(よせつけない)</p> <p>(4)ICT 機器の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔でわなの状況や電気柵の通電状況等を監視できる ICT 機器の活用支援。</li> </ul> <p>(5)農業現場における人身被害防止の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クマスプレーの導入を交付金で支援。</li> </ul> <p>(6)効果的なクマ対策の実現に向けた技術的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門家派遣による技術的支援</li> </ul> <p>○鳥獣被害防止総合対策交付金について</p> <p>環境省 クマ対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鳥獣保護管理法の施策体系</li> <li>クマの被害防止対策の概要について</li> <li>令和7年度のクマの出没や被害状況について</li> <li>改正鳥獣保護管理法の施行に向けて</li> <li>緊急銃猟の実施状況</li> <li>クマ対策 ・指定管理鳥獣対策事業について</li> </ul>
<p>市 政 の 課 題 へ の 参 考 等</p>	<p>伊丹市の防犯カメラ・ビーコン活用ネットワーク(まちなかミマモルメ)の仕組み、運用体制・犯罪抑止・災害対策への効果等 ICT を活用した新しい見守り・防犯の仕組みは、今後、本市が推進する「安心の市民生活充実プロジェクト」(防犯・交通安全・災害対策の充実)の強化さらに、子どもや認知症、高齢者の方の見守りの施策等更には、安全・安心なまちづくりに参考になり有効的だと考える。</p> <p>また、市民の皆さんの暮らしの利便性や地域社会のデジタル化向上で益々住みやすい、住み続けたい本市を築くためには、稲沢市の全庁的な DX 推進体制とデジタル人材の育成戦略は、効率的な行政運営と市民サービス向上の参考になると考える。</p> <p>鳥獣害対策調査では、国と県そして関係機関と連携し、多発するクマ出</p>

	<p>没に対し、農林水産省と環境省からそれぞれにおかれている指定管理鳥獣対策事業及びクマ被害対策パッケージ等の支援または交付金等を活用し、本市のクマ対策の施策を強化して被害の最小化を図り、市民の安全・安心の確保さらに、暮らしと命を守ることに寄与できると考える。</p>	
<p>参加者の感想等</p>	<p>参加議員氏名</p>	<p>感想等</p>
		<p>伊丹市の安全・安心見守りネットワーク事業調査では、伊丹市内のあちらこちらに、安全・安心見守りカメラをイメージした見守りキャラクター「アッチちゃん」の広告・看板等がある。そこには、「日本一安全・安心なまち」安全・安心見守りカメラ 1200 台とまた、「まちなかミマモルメ」で、「安心して暮らせる街に」また、「子どもたちやご年配の方々を見守ります。」とも表示されており、伊丹市には安全・安心見守りネットワークがあることを市内外に周知し、広報戦略にも力を入れており「安全・安心」を都市ブランドとして確立し、「選ばれるまち」を目指しておられることに感銘致しました。そして、ビーコンを活用した「まちなかミマモルメ」(位置情報通知サービス)は、受信器を持った対象者がまちなかに設置されたビーコン受信器付近を通過するとアプリまたはメール通信にて保護者へお知らせする機能と協力要請機能があり、更に対象者が迷子になった場合は迷子の情報をボランティアへ送信し捜索協力のお願いできるシステムは素晴らしいと感じた。そして、見守りカメラが設置されていることで、街頭犯罪・侵入犯罪・子どもが被害者になる犯罪から守り、抑止力となると考える。</p> <p>先進的に推進されている、伊丹市の安全・安心見守りネットワーク事業の取り組みを学ぶことができた。昨今、複雑多岐にわたる犯罪の抑止力・災害対策としても、防犯カメラ・ビーコン活用ネットワーク（まちなかミマモルメ）の仕組み運用は、本市においても「安心の市民生活充実プロジェクト」（防犯・交通安全・災害対策の充実）の強化をさらに推進する上で効果的な取り組みだと考える。</p> <p>稲沢市の全庁的な DX 推進体制とデジタル人材育成戦略調査では、躍進的な ICT を取り巻く環境、国が進めるデジタル化の加速を受けて、稲沢市は、令和 2 年 3 月に策定した「稲沢市 ICT 化推進計画」を改定し、令和 4 年 3 月には、「稲沢市 DX 推進計画」</p>

を策定、基本理念「ICTでつながる、ひろがる、スマート都市 INAZWA」を掲げ、「暮らしのDX」「地域のDX」「市役所のDX」の3つの基本構想を促進に向け、稲沢市の総合政策デジタル推進課を中心に、全庁横断的DX推進体制と、実効性のあるデジタル人材育成戦略を先進的に行われていることに感銘しました。

デジタル人材育成戦略では、DX推進に関する組織体制づくりがしっかりとされており、市職員デジタル人材育成計画は、全職員がデジタルリテラシーを持ち、デジタル技術やデータを活用することで新たな価値を生む出すことができる人材育成を目的とし、研修の取り組みも幹部職員向け研修、DX推進デザイナー向け研修、DX推進リーダー向け研修、一般職員向け研修そして、デジタル推進課職員が講師となり新規採用職員向けDX基本的研修も行われております。また、「総務省地域情報化アドバイザー制度」を活用し、他市町村の職員アドバイザー等を迎え複数スキル習得を目指した研修会も充実している。稲沢市では、市民やデジタルサービスを使いこなせない場合は、市内の事業者がスマホ教室を実施した際に補助金を交付また、高校生を講師役とした「スマホ教室」を行う予定などデジタルデバイス対策費補助金交付事業も充実している。デジタル化の加速とDX推進を向上するには、デジタル技術やデバイス（スマホ、PC、AI等）を理解・操作し、情報を適切に収集、評価、活用する能力を持つデジタル人材の育成が重要なことを学んだ。

鳥獣害対策調査では、農林水産省と環境省におけるクマ被害対策とクマ対策についてレクチャーを受けた。国は、クマによる死者数が過去最多を大幅に更新し、国民の安全・安心、暮らしと命を守るため、関係省庁連携による緊急的な対策を含めた総合的なクマ被害対策パッケージが実施されている。本市においても、喫緊の課題であるクマ出没多発へのクマ対策、国の最新の知見と戦略を直接施策に取り込むと共に国と県と関係機関と連携した対策強化で、市民の安全・安心、暮らしと命を守り被害の最小化を図ることが重要だと考える。

この度の安全・安心見守りネットワーク事業の調査、全庁的なDX推進体制とデジタル人材育成戦略

		<p>の調査、鳥獣害対策・クマ対策調査と、本市においても、市民の安全・安心の確保に貢献するためにも重要な分野の調査になった。今回学んだ事を本市の安全・安心な都市そして、「住みやすい」「住み続けたい」選ばれるまちに向けた取り組みに活かし、今後も天童市の発展のために研さんに努めていく。</p>
--	--	---

※参加議員全員が各調査（視察）先ごとに感想等を記載すること。